

明塾新聞 二月号

さくらだより



講師挨拶 杉森賢一先生



今年も北野天満宮に行つてきました。赤い目の牛さんに会うために。毎年恒例の行事です。今年もあたたかく迎え入れてくれるかなあ。ほほえむように座つてはりました。なでなでして受験の合格をお願いしておく。本殿に行つておさい銭を入れに行く。これで私の神事は終わり。

近くのスーパーへ買い物に向かう。今年は何を買つて帰ろうかなあ。

「いらつしやいませ。」

元気のいい店員さんが迎えてくれる。まわりはお客さんでいっぱい。

まずはそうざい売り場へと



向かった。カツ丼（受験に勝つ）これだけは外せないなあ。あとは鶏の天ぷら（点を取りに行く）唐揚げはよくあるけど天ぷらはめずらしいなあ。どんなもんか買つてみよう。次はお菓子売り場へと向かう。

カール（受かる。うカール）子供のころよく食べたもんや。キットカット（きつと勝つ）これもよく食べたわ。食後のキシリトール（きつちり通る）

いっぱい買いすぎてしまった。ちよつとぜいたくしすぎや。ばんごはん楽しみやなあ。

明塾の生徒の皆様。受験に定期テストにがんばつて下さい。応援しています。



手を洗おう



うがいをしよう

節分について

2025年の節分が2月2日なのはなぜ？

通常は2月3日が節分になりますが、2025年の節分は、2月2日です。なぜかという節分の日付は立春の影響を受けて変動する為です。2025年の立春は2月3日であるため、その前日が節分となります。

また立春や夏至といった暦は国立天文台が定めていて

毎年2月に

翌年の

歴要項を

発表して

います。



節分の由来・豆まきはなんのため？

節分の起源は、古代中国の「追儺（ついな）」という儀式にさかのぼります。追儺は、悪霊を追い払うための行事で、日本に伝わる際に、豆を使った風習が加りました。豆は、昔から「魔を滅する」という意味を持っており、邪気を払うために撒かれるようになったのです。

その後、特に豆まきが一般的になり、「鬼は外、福は内」という掛け声と共に豆をまくことで、家庭の中に悪いものが入らないように祈ると同時に、年齢の数だけ豆を食べることで、健康を祈るとい風習も根付いています。

豆は「大豆」を用いることが一般的ですが、地域によっては他の種類の豆を使用することもあります。

（販促マップHPより）



募集！

ウィンタースポーツ

寒い時期だからこそ出来るウィンタースポーツ。「スノーボード好き」「スケートやってみたい」「雪合戦の思い出」など、冬の遊びに関するお話をぜひお聞かせください。



【応募方法】文章、写真、イラスト等、すべて用紙は自由です。お名前を記入して、担当の先生にお渡し下さい。次号で紹介させて頂きます。

【締め切り】二月十四日（金）

【特典】先着十名様に図書カード五百円分を進呈いたします。

※募集テーマ以外の作品も、随時受け付けています！